徳島市立高

姉妹校協定結ぶ

徳島市立高校は24日、台湾南部・屏東県の台湾国立潮州高級中学校と姉妹校協定を結んだ。潮州高級中から生徒と教員計26人が市立高を訪れ、協定書を交わすとともに、2年生約320人と阿波踊りなどをして交流を深めた。

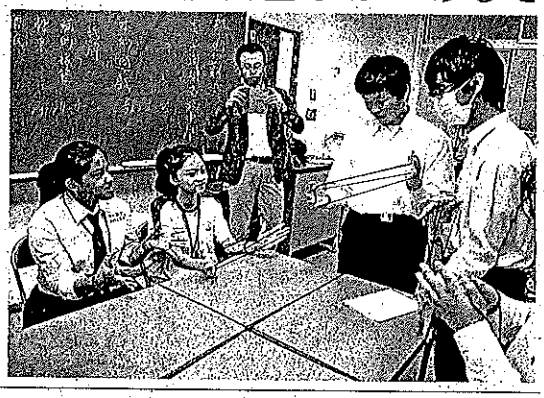
アリーナで歓迎セレモニーが行われ、市立高の天羽博昭校長と潮州高級中の林榮洲校長が協定書に調印。台湾の生徒がピアノ演奏やダンスを披露した。交流会では阿波踊り有名連・藝茶楽の演舞と踊り教室があり、連員から手足の動かし方などを教わり、市立高生と一緒に踊った。

また、台湾の生徒は8クラスに分かれ、あやとりやかるた、けん玉を体験するなど日本の文化に触れた。

高級中2年の陳信瑋さん(17)は「難しい遊びもあったけど、楽しめた」と話した。

両校の姉妹校協定は県観光協会が橋渡しした。今後、台湾で調査活動を行った徳島市出身の人類学者・鳥居龍蔵(1870~1953年)について共同研究をするなど生徒同士の交流を深め、交換留学の実施なども検討する。

(植田充輝)



徳島市立高生たちにあやとりの遊び方を教わる台湾の生徒(左側)=徳島市立高